

平成27年1月14日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 岐阜県立恵那高等学校 佐々木俊哉
2. 講師氏名: Dr. Emilio S.HARA
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成27年1月14日 (水) 13:45~15:30
5. 参加生徒: 2 年生 21 人 (合計 21 人)
備考: (例:理数科の生徒) 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文)Introduction to research in life science:from molecules to complex organisms
(和文) 骨と軟骨の組織の再生
7. 講演概要: ご自身の経歴と, 歯学の分野における組織の再生について, 理論およびご自身が取り組んでおられる実験のようすと結果についてご講義いただいた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 45分+パネルディスカッション 40 分 質疑応答時間 5~10分
 - (2) 講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
前半:プロジェクター使用による講演+後半:3 名によるパネルディスカッション
 - (3) 通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
なし, ただし, 研究内容の紹介と, パネルディスカッション用の質問を募集
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
該当なし
11. その他特筆すべき事項:

前半を希望者による分科会, 後半を全員参加によるパネルディスカッションとした。
ブラジルで歯科医として活動された経緯の紹介に反応が大きかった。英語, 日本語をともに流暢に話される姿に, 生徒は驚いていた。後半は本校の ALT が司会し, 全て英語により進めた。生徒には大変好評であった。